

令和5年度 湘南支援学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (法令の遵守、服務規律の徹底)	公務員としての立場を自覚し、教職員として法令遵守意識を確固とし、公務外非行の防止に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に服務についての確認及び具体的な手続きや管理職との連絡方法について確認をした。 ・毎月の不祥事防止研修において、教育公務員としての自覚と高い倫理観と立場についての意識を高めるとともに、自身の行動を点検し振り返った。
職場のハラスメント (パワハラ・セクハラ・マタハラ等)の防止	職員同士がお互いの人権を尊重した言動、行動をし、誰もが働きやすい職場環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発資料を活用し、ハラスメントになり得る具体的な言動や行動について周知するとともに注意喚起を行った。 ・風通しの良い職場づくりの一環として長期休業中に職員間の交流会を企画、実施した。
児童生徒等に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが、児童生徒の人権を尊重した指導を行い、事故不祥事の未然防止に当事者意識をもって取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の教員で対応する、密室となる環境を作らない指導を徹底した。 ・管理職が毎日校内巡視を行い、教室環境の確認、指導実践の観察を行い、よい取組みのフィードバックを行い、未然防止に努めた。
体罰、不適切な指導の防止	児童生徒の人権を尊重した丁寧な指導を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の人権に配慮した関わりについて、機会を捉えて、具体的な事例を踏まえて周知した。また、総括教諭による研修を実施した。 ・毎日、管理職と総括教諭の情報共有を行い、気になる指導について報告があった場合、管理職より注意喚起を行った。
入学者選抜、進路関係書類の作成および取扱いに係る事故防止	入学者選抜、進路関係資料、個別教育計画等の作成、管理を適切に行う	<ul style="list-style-type: none"> ・個別教育計画作成の時期には、管理方法、配付時の注意事項について再確認を行った。 ・入学者選抜業務の手順やチェック体制、緊急時対応について関係者で事前に確認を行い適切に実施した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に管理し、情報の紛失、流出を防止する	<ul style="list-style-type: none"> ・県点検資料を参考にし、本校の状況を鑑みた間違えやすい事例を取り入れた点検シートを作成し全職員が実施した。自身で点検したものをしながら、不祥事防止研修において解説をし、再確認を行った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守と交通事故を防止する	<ul style="list-style-type: none"> ・交通法規の遵守、交通事故防止に関して、日常的に注意喚起を行った。 ・年末年始には重点的に飲酒運転禁止や交通事故防止について研修を実施した。万一、事故を起こした場合の対応等の確認をした。
会計事務、財務事務等の適正執行	私費会計基準等に則した計画的で適正な執行に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・複数人におけるチェック体制により、適切な私費会計の執行ができた。年度途中で、私費会計マニュアルの見直しを図った。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題

令和5年度は、県点検資料をより身近に自分事と考えられるような質問項目に一部改訂し、各自が不祥事防止に、主体的に考えられるよう取り組んだ。また、年度始めと終わりに「不祥事防止に関する点検シート」を各自が実施した。管理職との面談時に活用したり、年度始めと終わりの点検シートを見比べたりすることで、個々の取組みについて振り返る機会とし、不祥事防止に対する意識を高めることができた。

令和6年度も引き続き、ヒヤリ・ハット報告の仕組みの活用、定期的な振り返り、課題に焦点を絞った不祥事防止研修の実施により、効果的に不祥事防止を意識できる職場づくりに努めたい。